

## 森 耕二 町会長 挨拶



この4月より、田上新町の町会長を務めることになりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

田上新町に住居を移して24年が経過しましたが、この間2度班長を務めさせていただいた以外、これといって町会の活動に積極的に参加してきた訳ではありませんでした。現在の仕事が建設コンサルタントであり、インフラの整備を日頃の業務として取り組んでいることから、地域に対する貢献も重要なライフワークとしなければならないと思い、今回、町会長を引き受けるに至った次第です。

町会長として、次の2点を最重要課題に位置づけて取り組んで参る所存です。

1. 地域の「安全・安心」な生活の維持・向上
  - ・災害発生に対する未然防止対策の強化
  - ・災害発生時の迅速な対応への取組強化
2. 明るく健康な地域づくり
  - ・会員同士が相互に助け合えるまちづくり
  - ・健康で快適な暮らしが可能なまちづくり

微力ではございますが、前向きに精一杯取り組んで参りますので、町会のみなさまのご協力をお願いいたします。

平成27年度田上新町町会長 森 耕二



森 耕二 町会長  
2015.5.24 撮影



## 田上新町 ぴかぴか1年生です



平成27年度 新1年生の皆さんです。あたたかく見守ってください。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ○ 住川 智也 (ともや) くん (8班)   | ○ 和田 麻騎士 (まきし) くん (17班) |
| ○ 岡口 朔久 (さく) くん (9班)    | ○ 田中 花鈴 (かりん) さん (17班)  |
| ○ 今村 瑠海 (るみ) さん (11班)   | ○ 中町 奏 (かなで) さん (18班)   |
| ○ 池田 翔真 (しょうま) くん (14班) | ○ 中川 愛弥 (まなみ) さん (19班)  |
| ○ 南 沙都寧 (さとね) さん (14班)  |                         |



# 田上新町町会 新役員でスタート!

4月12日(日)の総会にて、新役員が決定しました。1年間、よろしくお願い致します。



## ★ 新役員一覧表

役職名	氏名	班	役割	職務内容
会長	森 耕二	24		<b>【町外】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 公民館や市役所への書類作成と届出</li> <li>➢ 田上校下連合町会、田上地区町会協議会 会議</li> <li>➢ 田上神明社の春祭り、秋祭り</li> <li>➢ 戦没者慰霊祭に参加</li> </ul> <b>【町内】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 町会名簿や要援護者名簿の管理</li> <li>➢ 会員のお悔やみに関すること(通夜参列等)</li> <li>➢ 赤い羽根、日赤募金の取り纏め</li> <li>➢ 田上神明社お神札の取り纏め</li> <li>➢ 新成人の対象者調査</li> <li>➢ 困りごと、苦情の処理仲介</li> <li>➢ 町会の会議、行事の進行</li> <li>➢ 行政等への要望</li> </ul>
副会長	供田 浩	5	美化推進部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 美化清掃活動に関すること</li> <li>➢ 除草(第2児童公園、第1緑地)*市から委託</li> <li>➢ 花植え(プランター)*年2回、市から花苗配布</li> </ul>
//	南保 英孝	6	財務部長 Aブロック長 (1~7班)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 一般会計、特別会計の取引及び記録管理 (町会費、会館使用料の徴収及び各種支払)</li> <li>➢ 決算等に関すること</li> </ul>
//	山下 信春	8	福利厚生部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 新生児祝いに関すること</li> <li>➢ 敬老祝いに関すること</li> <li>➢ 新成人祝いに関すること</li> <li>➢ 会館管理に関すること</li> </ul>
//	柿木 勇	12	企画イベント部長 Bブロック長 (8~12班)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 夏祭りに関すること</li> <li>➢ 秋祭りに関すること</li> <li>➢ 餅つき大会等の親睦行事に関すること</li> </ul>
//	寺本 誠	17	スポーツ文化部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 社会体育大会に関すること</li> <li>➢ スポーツ行事に関すること</li> <li>➢ 歩こう会の実施</li> <li>➢ 文化、教養に関すること</li> </ul>
//	加藤 峰弘	13	広報部長 Cブロック長 (13~17班)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 田上新町ニュースの発行</li> <li>➢ 田上新町オフィシャルブログの原稿、写真</li> <li>➢ 回覧、配布物の仕分け</li> </ul>
//	柿島 剛	22	環境改善部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ごみ衛生に関すること</li> <li>➢ 防犯に関すること(夜回り、月2回) *自治会防犯隊と連携</li> <li>➢ 街灯のメンテナンス</li> <li>➢ 除雪対策に関すること</li> </ul>
//	田中 逸郎	23	総務部長 Dブロック長 (18~24班)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 町会運営全般の統括的業務、調整</li> <li>➢ 会館の器具备品の管理</li> <li>➢ 町会名簿、会議資料の作成</li> <li>➢ 回覧の作成</li> </ul>

## コラム 「逆選択」と銀行

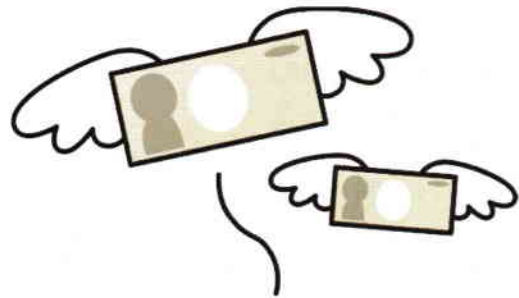
ここでは、経済学におけるユニークな概念である「逆選択」(adverse selection)



に照らして、銀行が融資前に必ず行う「審査」(screening)の重要性について考えてみましょう。銀行にとって審査は本当に骨の折れる作業です。一般に、借手は融資案件のリスクをよく知っていますが、貸手はそれを知りません(こうした情報格差を経済学では「情報の非対称性」と呼んでいます)。したがって、銀行は企業が融資を申し込んできた場合、その企業について、経営内容を踏まえた上で、資産・財務状況、新規投資プロジェクトの採算性について詳しく調べなければなりません。財務諸表、資金繰り表、税務申告書、設備投資計画書などを分析したり、工場見学、店舗視察など実地調査を行ったりするには、専門知識・ノウハウに加えて多大な労力を要します。社長の経営者としての「器」(資質)を見極めたり、従業員の働きぶりを評価したりすることも欠かせません。その企業が属している業界の動向を探ることも大切です。こうした審査を経て、銀行は融資の可否を決め、融資するとなったら、貸出金利を設定します。金利にはもちろん、審査結果に沿ったリスク・プレミアムが反映されます。

以上のように、審査は膨大で煩雑な作業です。しかし、だからといって、銀行が審査を廃止し、えいっ！と、どのような企業に対しても同一の金利、例えば5%で融資することにしたら、どのような事態を招くでしょうか？貸出金利には過去の貸倒実績率がちゃんと反映されており、その銀行は計算上、必ず採算が取れると確信しています。

結果はその銀行の自信を裏切るものとなります。すなわち、貸出金利をいくら厳密に計算したとしても、その銀行を待つのは経営破綻だけです。というのも、他行から5%未満で借りられる優良企業はその銀行をまったく相手にしない一方で、5%だったら大助かりと考える倒産寸前の企業がこそって融資を申し込んでくるため、その銀行は結局、多額の不良債権を抱えるハメに陥るからです。





さて、生物学では『種の起源』(1859年)で知られるチャールズ・ダーウィン(Charles Robert Darwin; 1809~82)が「自然選択」(natural selection)という概念を提唱しました。それは、ある生物集団の生存競争において、環境に適した遺伝形質を持つ個体が生き残り、それが何度も繰り返されて種が成立するというものです。このように自然選択の過程では「優秀な」個体が生き残っていきます。他方、上で述べた銀行の場合には、審査を軽視したがゆえに「劣悪な」企業だけが顧客として残りました。こうした現象を経済学では「逆選択」と呼んでいます。「逆選択」は銀行にとって審査がいかに重要な業務であるかを如実に物語っています。

なお、世界で最初に「逆選択」の仕組みを説明したのはアメリカの経済学者、ジョージ・アカロフ(George Arthur Akerlof; 1940~)です。1970年のことでした。後年、彼の業績は「情報の経済学」(「情報の非対称性」にかかわる経済分析)の発展に伴って、その基礎を成すものであると高く評価されました。そして2001年、彼はついに他の2名の経済学者とともにノーベル経済学賞を受賞するに至りました。

### ジョージ・アカロフ



出所: <http://www.nobelpreis.org/japanese/wirtschaft/akerlof.htm>

(文責: 広報担当 加藤 峰弘)

発行: 田上新町広報担当 加藤 峰弘 (TEL: 076-225-8324, E-mail: ominehan1028@yahoo.co.jp)  
町内のいろんな情報をお寄せください。電話または E-mail でご連絡ください。お待ちしております。